

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人 名古屋市立大学

(2) 大学名

名古屋市立大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒467-8501 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地
〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
〒467-8603 愛知県名古屋市瑞穂区田辺通3丁目1番地
(〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コオリ ケンジロウ) 郡 健二郎 (平成30年4月)		
学長	(アサイ キヨフミ) 浅井 清文 (令和4年4月)		
学部長	(ミサワ テツヤ) 三澤 哲也 (令和5年4月)		
学科長等	該当なし		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
データサイエンス学部 データサイエンス学科 学士(データサイエンス)	経済学関係 理学関係 工学関係	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	80 () []	人 () []	80 () []	人 () []	人 () []	80 () []	-	1.00倍	-		
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	188 () []	() []	195 () []	() []	() []	390 () []	() []				春季入学以外の入学時期と入学定員内訳
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	161 () []	() []	166 () []	() []	() []	352 () []	() []				-
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	82 () []	() []	83 () []	() []	() []	82 () []	() []				-
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	80 () []	() []	81 () []	() []	() []	82 () []	() []				-
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.00	-	1.01	-	-	1.02	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-			79	-	81	-	82	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	78	-	81	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	78	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計							79		159		241		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	79 人	1 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	- 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
令和6年度	159 人	1 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	- 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	241 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合計		2 人		2 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{1}{80} = \boxed{1.25} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{1}{160} = \boxed{0.62} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{241} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					の基礎的科目(前手)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般 教 養 科 目	社会人になるA	1前		2								1
	社会人になるB	1後		2								1
	名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題	1前・後		2								1
	ESDと地域の環境	1後		2								1
	日本国憲法	1前・後		2								1
	なぜ憲法が必要なのか	1前		2								1
	人と法と医療	1前		2								2
	経済学:経済のしくみ	1前		2								1
	経済学:経済と社会	1前		2								1
	経済学:経済学の考え方	1前		2								1
	経営学:企業活動の諸相	1後		2		1						1
	経営学:組織を取り巻く諸環境について	1後		2								2
	社会学A	1後		2								2
	社会学B	1後		2								1
	社会学C	1後		2								1
	環境行動学と情報リテラシー	1前		2								1
	平和論	1後		2								3
	私たちの暮らしと政治・行政・地方自治	1前		2								1
	フィールド研究からみるアジア	1前		2								4
	キー・コンピテンシー	1後		2								1
	人類学	1後		2								1
	日本語コミュニケーション	1後		2								1
	囲碁に学ぶ	1後		2								1
	東ヨーロッパの文化と歴史	1後		2								1
	欧州史の中の北欧史	1後		2								1
	アメリカ史入門	1前・後		2								1
	都市と地域構造の地理学	1前		2								1
	自分とみんなで考える哲学	1前・後		2								1
	心理学概論	1後		2								1
	心理学入門	1後		2								1
現代教育の諸相	1前		2								2	
次世代育成と地域の課題	1後		2								2	
宗教学入門	1後		2								1	
科学史	1後		2								1	
都市と自然	1前		2								1	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					の基礎的科目(前手)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般 教 養 科 目	社会人になるA	1前		2								1
	社会人になるB	1後		2								1
	近世名古屋の歴史	1後		2								1
	起業家になる(集中講義)	1後		2								1
	持続可能な社会と私たち	1前		2								1
	ESDと地域の環境	1後		2								1
	次世代エネルギーワークショップ(集中講義)	1前		2								1
	ソーシャル・デザイン実践編(集中講義)	1前		2								1
	日本国憲法	1前・後		2								1
	なぜ憲法が必要なのか	1前		2								1
	現代社会と法	1後		2								2
	人と法と医療	1後		2								2
	経済学:経済のしくみ	1前		2								1
	経済学:経済と社会	1前		2								1
	経済学:経済学の考え方	1前		2								3
	経営学:企業と社会、個人の関係	1後		2								4
	経営学:企業活動の諸相	1後		2								3
	経営学:組織を取り巻く諸環境について	1後		2								2
	社会学A	1後		2								2
	社会学B	1後		2								1
	社会学C	1後		2								1
	環境行動学と情報リテラシー	1前		2								3
	平和論	1後		2								2
	私たちの暮らしと政治・行政・地方自治	1後		2								1
	国際政治(集中講義)	1前		2								1
	シティズンシップ入門(未開講)	1後		2								-
	キー・コンピテンシー(未開講)	1後		2								-
	人類学	1前		2								1
	日本語コミュニケーション	1後		2								1
	囲碁に学ぶ	1後		2								1
東ヨーロッパの文化と歴史(隔年)	1後		2								1	
欧州史の中の北欧史	1後		2								1	
文化に見る歴史	1後		2								1	
アメリカ史入門	1前・後		2								1	
都市と地域構造の地理学	1前・後		2								1	
音楽と文化(未開講)	1前		2								1	
自分とみんなで考える哲学	1前		2								1	
心理学概論	1後		2								1	
心理学入門	1後		2								1	
現代教育の諸相	1後		2								2	
次世代育成と地域の課題	1後		2								2	
デジタル時代の人文学(隔年)	1後		2								1	
宗教学入門(未開講)	1前		2								1	
日本の宗教の歴史と文化	1後		2								1	
科学史	1後		2								1	
都市と自然	1前		2								3	
リハビリテーション概論	1後		2								4	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教養科目	宇宙のなりたち	1後		2								1
	植物とバイオテクノロジー	1前		2								1
	エネルギーのサイエンス	1後		2								5
	バイオサイエンス入門	1後		2								3
	情報と数理の世界	1後		2								7
	地球史入門	1後		2								1
	地域生態学	1後		2								1
小計(42科目)	-		0	84	0	1	0	0	0	0	0	62
語学科目	IS: Community	1前・後		1								1
	IS: Social Justice	1前・後		1								1
	IS: Life & Work	1前・後		1								1
	IS: Health & Well-being	1前・後		1								1
	IS: The Arts	1前・後		1								1
	AE: Make a Difference in Your Community	1前・後		2								1
	AE: Interact Internationally	1前・後		2								1
	AE: Improve Life Skills	1前・後		2								2
	AE: Raise Health/Environmental Awareness	1前・後		2								1
	AE: Produce a Movie	1前・後		2								1
	CS: Presentation	1前・後		2								6
	CS: Grammar and Usage	1前・後		2								4
	CS: TOEIC Preparation	1前・後		2								3
	EM: World News	1前・後		2								4
	EM: Popular Culture	1前・後		2								4
	EM: Reading for Inspiration	1前・後		2								5
	EM: Online Articles and Videos	1前・後		2								5
	ドイツ語初級1	1前・後		2								4
	ドイツ語初級2	1後		2								3
	フランス語初級1	1前・後		2								3
	フランス語初級2	1後		2								2
	中国語初級1	1前・後		2								6
	中国語初級2	1後		2								5
	韓国語初級1	1前・後		2								3
	韓国語初級2	1後		2								2
	スペイン語初級1	1前・後		2								3
	スペイン語初級2	1後		2								2
	日本手話初級1	1前・後		2								3
	日本手話初級2	1後		2								2
	ポルトガル語入門	1後		2								1
	ロシア語入門	1前		2								1
	イタリア語入門	1後		2								1
	アラビア語入門	1前		2								1
小計(33科目)	-		0	61	0	0	0	0	0	0	0	54
健康・スポーツ	健康・スポーツ科学	1前		2								6
	小計(1科目)	-		2	0	0	0	0	0	0	0	6

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教養科目	宇宙のなりたち	1後		2								1
	植物とバイオテクノロジー	1前		2								1
	エネルギーのサイエンス	1後		2								5
	バイオサイエンス入門	1後		2								3
	情報と数理の世界	1後		2								5
	地球史入門	1前・後		2								1
	地域生態学	1後		2								1
小計(54科目)	-		0	108	0	1	0	0	0	0	0	76
語学科目	IS: Community	1前・後		1								1
	IS: Social Justice	1前・後		1								2
	IS: Life & Work	1前・後		1								1
	IS: Health & Well-being	1前・後		1								1
	IS: The Arts	1前・後		1								2
	AE: Make a Difference in Your Community	1前・後		2								1
	AE: Interact Internationally	1前・後		2								2
	AE: Improve Life Skills	1前・後		2								2
	AE: Raise Health/Environmental Awareness	1前・後		2								1
	AE: Produce a Movie	1前・後		2								1
	CS: Presentation	1前・後		2								6
	CS: Grammar and Usage	1前・後		2								4
	CS: TOEIC Preparation	1前・後		2								6
	CS: Writing	1前・後		2								2
	EM: World News	1前・後		2								7
	EM: Popular Culture	1前・後		2								5
	EM: Reading for Inspiration	1前・後		2								3
	EM: Online Articles and Videos	1前・後		2								7
	ドイツ語初級1	1前・後		2								3
	ドイツ語初級2	1後		2								2
	フランス語初級1	1前・後		2								3
	フランス語初級2	1後		2								2
	中国語初級1(未開講)	1前・後		2								6
	中国語初級2	1後		2								5
	韓国語初級1	1前・後		2								4
	韓国語初級2	1後		2								3
	スペイン語初級1	1前・後		2								3
	スペイン語初級2	1後		2								3
	日本手話初級1(未開講)	1前・後		2								4
	日本手話初級2	1後		2								2
	ポルトガル語入門	1前・後		2								1
	ロシア語入門	1前・後		2								1
	イタリア語入門	1前・後		2								1
アラビア語入門	1前・後		2								1	
小計(34科目)	-		0	63	0	0	0	0	0	0	0	60
健康・スポーツ	健康・スポーツ科学	1前		2								3
	小計(1科目)	-		2	0	0	0	0	0	0	0	3

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
データサイエンス応用科目	計算機シミュレーション	3・4後		2			1						
	情報通信基礎とIoT	3・4前		2								1	
	計測装置・自然観測論	3・4後		2			1						
	人間工学	3・4前		2			1						
	ビッグデータ活用	3・4前		2			2	1					
	財務情報分析	3・4前		2			2						
	金融工学	3・4後		2			1						
	計量経済学	3・4前		2			1						
	応用経済理論	3・4後		2					1				
	ベンチャー経営	3・4前		2								1	
	金融論	3・4前		2								1	
	財政学	3・4前		2								1	
	国際経済学	3・4後		2								1	
	マーケティングサイエンス	3・4後		2								1	
	経営戦略	3・4後		2								1	
	応用統計(医療統計)	3・4前		2				1					
	社会医療情報	3・4前		2				1					
	レギュラトリーサイエンス	3・4後		2			1						
	健康情報学	3・4後		2				1					
小計(19科目)	-			0	38	0	7	2	1	0	0	7	
専門演習科目	PBL演習1	2前		2			9	4	1				
	PBL演習2	2後		2			9	4	1				
	PBL演習3	3前		2			9	4	1				
	PBL演習4	3後		2			9	4	1				
	卒業研究1	4前		4			9	4	1				
	卒業研究2	4後		4			9	4	1				
小計(6科目)	-			16	0	0	9	4	1	0	0	0	
合計(138科目)	-			48	227	0	9	4	1	0	0	126	
卒業要件及び履修方法													
<p>教養教育科目から必修2単位を含む24単位以上(うち英語科目(IS,AE,CS,EM)から6単位以上)、専門科目のうち、専門基礎科目から必修30単位を含む40単位以上、専門展開科目のうち、専門発展科目から16単位以上、データサイエンス応用科目から28単位以上、専門科目のうち、専門演習科目から必修16単位、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:年間48単位)</p>													

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
データサイエンス応用科目	計算機シミュレーション	3・4後		2			1						
	情報通信基礎とIoT	3・4前		2								1	
	計測装置・自然観測論	3・4後		2			1						
	人間工学	3・4前		2			1						
	ビッグデータ活用	3・4前		2			2	1					
	財務情報分析	3・4前		2			2						
	金融工学	3・4後		2			1						
	計量経済学	3・4前		2			1						
	応用経済理論	3・4後		2					1				
	ベンチャー経営	3・4前		2								1	
	金融論	3・4前		2								1	
	財政学	3・4前		2								1	
	国際経済学	3・4後		2								1	
	マーケティングサイエンス	3・4後		2								1	
	経営戦略	3・4後		2								1	
	応用統計(医療統計)	3・4前		2				1					
	社会医療情報	3・4前		2				1					
	レギュラトリーサイエンス	3・4後		2			1						
	健康情報学	3・4後		2				1					
医療情報学	3・4後		2				1						
小計(20科目)	-			0	40	0	6	5	0	0	0	7	
専門演習科目	PBL演習1	2前		2			9	6					
	PBL演習2	2後		2			9	6					
	PBL演習3	3前		2			9	5					
	PBL演習4	3後		2			9	5					
	卒業研究1	4前		4			9	5					
	卒業研究2	4後		4			9	5					
小計(6科目)	-			16	0	0	9	6	0	0	0	0	
合計(152科目)	-			48	255	0	9	6	0	0	0	145	
卒業要件及び履修方法													
<p>教養教育科目から必修2単位を含む24単位以上(うち英語科目(IS,AE,CS,EM)から6単位以上)、専門科目のうち、専門基礎科目から必修30単位を含む40単位以上、専門展開科目のうち、専門発展科目から16単位以上、データサイエンス応用科目から28単位以上、専門科目のうち、専門演習科目から必修16単位、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:年間48単位)</p> <p>【進級要件】 3年次終了時に、次の各号に示す単位を修得していなければ、4年次に進級することができない。 教養教育科目:必修単位数 8単位、選択単位数 12単位 合計20単位 専門科目:以下に示す合計74単位 専門基礎科目:必修単位数 30単位、選択単位数 10単位 合計40単位 専門発展科目: 専門発展科目:選択単位数 10単位 合計10単位 データサイエンス応用科目:選択単位数 18単位 合計18単位 専門演習科目:必修単位数 6単位 合計6単位</p> <p>【CAP制】 1学期に履修可能な単位数の上限は合計で24単位である。ただし直前の学期のGPAにより、履修登録できる上限単位数が半期あたり最大4単位加算される。</p>													

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般 教養 科目	社会人になるA	1前		2								1
	社会人になるB	1後		2								1
	近世名古屋の歴史	1後		2								1
	起業家になる(集中講義)	1後		2								1
	持続可能な社会と私たち	1前		2								1
	ESDと地域の環境	1後		2								1
	次世代エネルギーワークショップ(集中講義)	1前		2								1
	日本国憲法	1前・後		2								2
	なぜ憲法が必要なのか	1前		2								1
	現代社会と法	1後		2								1
	人と法と医療	1後		2								2
	経済学:経済のしくみ	1前		2								1
	経済学:経済と社会	1前		2								1
	経済学:経済学の考え方	1前		2								1
	経営学:企業と社会、個人の関係	1後		2								5
	経営学:企業活動の諸相	1後		2								3
	経営学:組織を取り巻く諸環境について	1後		2								2
	社会学A	1後		2								2
	社会学B	1後		2								1
	社会学C	1後		2								1
	環境行動学と情報リテラシー	1前		2								3
	平和論	1後		2								2
	私たちの暮らしと政治・行政・地方自治	1後		2								1
	国際政治(集中講義)	1前		2								1
	シティズンシップ入門	1後		2								1
	キー・コンピテンシー	1後		2								1
	人類学	1前		2								1
	日本語コミュニケーション	1後		2								1
	囲碁に学ぶ	1後		2								1
	東ヨーロッパの文化と歴史(隔年)	1後		2								1
	欧州史の中の北欧史	1後		2								1
	文化に見る歴史	1前		2								1
	アメリカ史入門	1前・後		2								1
都市と地域構造の地理学	1前・後		2								1	
音楽と文化	1前		2								1	
自分とみんなで考える哲学	1前		2								1	
心理学概論	1後		2								1	
心理学入門	1後		2								1	
現代教育の諸相	1後		2								2	
次世代育成と地域の課題	1後		2								2	
デジタル時代の人文学(隔年)	1後		2								1	
宗教学入門	1前		2								1	
日本の宗教の歴史と文化	1後		2								1	
科学史	1後		2								1	
都市と自然	1前		2								2	
リハビリテーション概論	1後		2								2	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	専任教員等の配置					兼任・兼担			
				必修	選択	自由	教授	准教授		講師	助教	助手
一般 教養 科目	社会人になるA	1前	2									1
	社会人になるB	1後	2									1
	名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題	1前・後	2									1
	ESDと地域の環境	1後	2									1
	日本国憲法	1前・後	2									2
	なぜ憲法が必要なのか	1前	2									1
	人と法と医療	1後	2									2
	経済学:経済のしくみ	1前	2									1
	経済学:経済と社会	1前	2									1
	経済学:経済学の考え方	1前	2									1
	経営学:企業活動の諸相	1後	2									3
	経営学:組織を取り巻く諸環境について	1後	2									2
	社会学A	1後	2									2
	社会学B	1後	2									1
	社会学C	1後	2									1
	環境行動学と情報リテラシー	1前	2									4
	平和論	1後	2									3
	私たちの暮らしと政治・行政・地方自治	1後	2									1
	フィールド研究からみるアジア(未開講)	1前	2									-
	キー・コンピテンシー	1後	2									1
	人類学	1前	2									1
	日本語コミュニケーション	1後	2									1
	囲碁に学ぶ	1後	2									1
	東ヨーロッパの文化と歴史	1後	2									1
	欧州史の中の北欧史	1後	2									1
	アメリカ史入門	1前・後	2									1
	都市と地域構造の地理学	1前・後	2									1
	自分とみんなで考える哲学	1前	2									1
	心理学概論	1後	2									1
	心理学入門	1後	2									1
	現代教育の諸相	1後	2									2
	次世代育成と地域の課題	1後	2									2
	宗教学入門	1前	2									1
科学史	1後	2									1	
都市と自然	1前	2									3	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般 教養 科目	宇宙のなりたち	1後		2								1
	植物とバイオテクノロジー	1前		2								1
	エネルギーのサイエンス	1後		2								5
	バイオサイエンス入門	1後		2								3
	情報と数理の世界	1後		2								5
	地球史入門	1前・後		2								1
	地域生態学	1後		2								1
	小計(53科目)	-		0	106	0	0	0	0	0	0	0
語 学 科 目	IS: Community	1前・後		1								1
	IS: Social Justice	1前・後		1								2
	IS: Life & Work	1前・後		1								1
	IS: Health & Well-being	1前・後		1								2
	IS: The Arts	1前・後		1								1
	AE: Make a Difference in Your Community	1前・後		2								2
	AE: Interact Internationally	1前・後		2								1
	AE: Improve Life Skills	1前・後		2								2
	AE: Raise Health/Environmental Awareness	1前・後		2								1
	AE: Produce a Movie	1前・後		2								1
	CS: Presentation	1前・後		2								7
	CS: Grammar and Usage	1前・後		2								4
	CS: TOEIC Preparation	1前・後		2								6
	CS: Writing	1前・後		2								2
	EM: World News	1前・後		2								6
	EM: Popular Culture	1前・後		2								5
	EM: Reading for Inspiration	1前・後		2								4
	EM: Online Articles and Videos	1前・後		2								6
	ドイツ語初級1	1前・後		2								3
	ドイツ語初級2	1後		2								2
	フランス語初級1	1前・後		2								3
	フランス語初級2	1後		2								2
	中国語初級1	1前・後		2								5
	中国語初級2	1後		2								4
	韓国語初級1	1前・後		2								3
	韓国語初級2	1後		2								3
	スペイン語初級1	1前・後		2								3
スペイン語初級2	1後		2								3	
日本手話初級1	1前・後		2								4	
日本手話初級2	1後		2								2	
ポルトガル語入門	1前・後		2								1	
ロシア語入門	1前・後		2								1	
イタリア語入門	1前・後		2								1	
アラビア語入門	1前・後		2								1	
小計(34科目)	-		0	63	0	0	0	0	0	0	0	56
健康・スポーツ 科目	健康・スポーツ科学	1前		2								4
	小計(1科目)	-		2	0	0	0	0	0	0	0	4

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般 教養 科目	宇宙のなりたち	1後		2								1
	植物とバイオテクノロジー	1前		2								1
	エネルギーのサイエンス	1後		2								5
	バイオサイエンス入門	1後		2								3
	情報と数理の世界	1後		2								5
	地球史入門	1前・後		2								1
	地域生態学	1後		2								1
	小計(42科目)	-		0	84	0	1	0	0	0	0	0
語 学 科 目	IS: Community	1前・後		1								1
	IS: Social Justice	1前・後		1								1
	IS: Life & Work	1前・後		1								1
	IS: Health & Well-being	1前・後		1								2
	IS: The Arts	1前・後		1								1
	AE: Make a Difference in Your Community	1前・後		2								2
	AE: Interact Internationally	1前・後		2								1
	AE: Improve Life Skills	1前・後		2								1
	AE: Raise Health/Environmental Awareness	1前・後		2								1
	AE: Produce a Movie	1前・後		2								1
	CS: Presentation	1前・後		2								6
	CS: Grammar and Usage	1前・後		2								5
	CS: TOEIC Preparation	1前・後		2								5
	EM: World News	1前・後		2								5
	EM: Popular Culture	1前・後		2								4
	EM: Reading for Inspiration	1前・後		2								4
	EM: Online Articles and Videos	1前・後		2								6
	ドイツ語初級1	1前・後		2								4
	ドイツ語初級2	1後		2								3
	フランス語初級1	1前・後		2								2
	フランス語初級2	1後		2								3
	中国語初級1	1前・後		2								5
	中国語初級2	1後		2								5
	韓国語初級1	1前・後		2								3
	韓国語初級2	1後		2								3
	スペイン語初級1	1前・後		2								3
	スペイン語初級2	1後		2								3
日本手話初級1	1前・後		2								4	
日本手話初級2	1後		2								3	
ポルトガル語入門	1前・後		2								1	
ロシア語入門	1前・後		2								1	
イタリア語入門	1前・後		2								1	
アラビア語入門	1前・後		2								1	
小計(33科目)	-		0	61	0	0	0	0	0	0	0	55
健康・スポーツ 科目	健康・スポーツ科学	1前		2								4
	小計(1科目)	-		2	0	0	0	0	0	0	0	4

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
データサイエンス応用科目	計算機シミュレーション	3・4後		2		1						
	情報通信基礎とIoT	3・4前		2								1
	計測装置・自然観測論	3・4後		2		1						
	人間工学	3・4前		2		1						
	ビッグデータ活用	3・4前		2		2	1					
	財務情報分析	3・4前		2		2						
	金融工学	3・4後		2		1						
	計量経済学	3・4前		2		1						
	応用経済理論	3・4後		2			1					
	ベンチャー経営	3・4前		2								1
	金融論	3・4前		2								1
	財政学	3・4前		2								1
	国際経済学	3・4後		2								1
	マーケティングサイエンス	3・4後		2								1
	経営戦略	3・4後		2								1
	応用統計(医療統計)	3・4前		2			1					
	社会医療情報	3・4前		2				1				
	レギュラトリーサイエンス	3・4後		2				1				
	健康情報学	3・4後		2			1					
小計(19科目)	-		0	38	0	6	4	0	0	0	0	7
専門演習科目	PBL演習1	2前		2		9	5					
	PBL演習2	2後		2		8	7					
	PBL演習3	3前		2		9	5					
	PBL演習4	3後		2		8	7					
	卒業研究1	4前		4		9	5					
	卒業研究2	4後		4		8	7					
小計(6科目)	-		16	0	0	9	7	0	0	0	0	0
合計(150科目)	-		48	251	0	9	7	0	0	0	0	137

卒業要件及び履修方法

教養教育科目から必修2単位を含む24単位以上(うち英語科目(ISAE,CS,EM)から6単位以上)、専門科目のうち、専門基礎科目から必修30単位を含む40単位以上、専門展開科目のうち、専門発展科目から16単位以上、データサイエンス応用科目から28単位以上、専門科目のうち、専門演習科目から必修16単位、合計124単位以上で修得すること。(履修科目の登録の上限:年間48単位)

【進級要件】
 3年次終了時において、次の各号に示す単位を修得していなければ、4年次に進級することができない。
 教養教育科目:必修単位数 8単位、選択単位数 12単位 合計20単位
 専門科目:以下に示す合計74単位
 専門基礎科目:必修単位数 30単位、選択単位数 10単位 合計40単位
 専門展開科目:
 専門発展科目:選択単位数 10単位 合計10単位
 データサイエンス応用科目:選択単位数 18単位 合計18単位
 専門演習科目:必修単位数 6単位 合計6単位

【CAP制】
 1学期に履修可能な単位数の上限は合計で24単位である。ただし直前の学期のGPAにより、履修登録できる上限単位数が半期あたり最大4単位加算される。

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
データサイエンス応用科目	計算機シミュレーション	3・4後		2		1						
	情報通信基礎とIoT	3・4前		2								1
	計測装置・自然観測論	3・4後		2		1						
	人間工学	3・4前		2		1						
	ビッグデータ活用	3・4前		2		2	1					
	財務情報分析	3・4前		2		2						
	金融工学	3・4後		2		1						
	計量経済学	3・4前		2		1						
	応用経済理論	3・4後		2			1					
	ベンチャー経営	3・4前		2								1
	金融論	3・4前		2								1
	財政学	3・4前		2								1
	国際経済学	3・4後		2								1
	マーケティングサイエンス	3・4後		2								1
	経営戦略	3・4後		2								1
	応用統計(医療統計)	3・4前		2			1					
	社会医療情報	3・4前		2				1				
	レギュラトリーサイエンス	3・4後		2				1				
	健康情報学	3・4後		2			1					
小計(19科目)	-		0	38	0	7	3	0	0	0	0	7
専門演習科目	PBL演習1	2前		2		9	5					
	PBL演習2	2後		2		9	5					
	PBL演習3	3前		2		9	5					
	PBL演習4	3後		2		9	5					
	卒業研究1	4前		4		9	5					
	卒業研究2	4後		4		9	5					
小計(6科目)	-		16	0	0	9	5	0	0	0	0	0
合計(138科目)	-		48	227	0	9	5	0	0	0	0	128

卒業要件及び履修方法

教養教育科目から必修2単位を含む24単位以上(うち英語科目(ISAE,CS,EM)から6単位以上)、専門科目のうち、専門基礎科目から必修30単位を含む40単位以上、専門展開科目のうち、専門発展科目から16単位以上、データサイエンス応用科目から28単位以上、専門科目のうち、専門演習科目から必修16単位、合計124単位以上で修得すること。(履修科目の登録の上限:年間48単位)

【進級要件】
 3年次終了時において、次の各号に示す単位を修得していなければ、4年次に進級することができない。
 教養教育科目:必修単位数 8単位、選択単位数 12単位 合計20単位
 専門科目:以下に示す合計74単位
 専門基礎科目:必修単位数 30単位、選択単位数 10単位 合計40単位
 専門展開科目:
 専門発展科目:選択単位数 10単位 合計10単位
 データサイエンス応用科目:選択単位数 18単位 合計18単位
 専門演習科目:必修単位数 6単位 合計6単位

【CAP制】
 1学期に履修可能な単位数の上限は合計で24単位である。ただし直前の学期のGPAにより、履修登録できる上限単位数が半期あたり最大4単位加算される。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「専任教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。
 - ・ (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
 - ・ その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 - ・ 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 - ・ (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・「日本国憲法」の担当教員（1名の教員が前期・後期の2回担当）を前期後期それぞれ、別の教員が担当することに変更したことによる人数変更（1名⇒2名）
- ・「人と法の医療」の開講学期を「前期」から「後期」に変更
- ・「経営学：企業活動の諸相」の科目の担当教員を専任教員から兼任教員のオムニバス科目に変更
- ・「環境行動学と情報リテラシー」の担当教員数を変更（1名⇒4名）
- ・「私たちの暮らしと政治・行政・地方自治」の担当教員が育児休業取得のため、「前期」から「集中講義」に変更
- ・「人類学」の開講学期を「後期」から「前期」に変更
- ・「都市と地域構造の地理学」の開講学期を「前期」から「前・後期」に変更
- ・「自分とみんなで考える哲学」の開講学期を「前・後期」から「前期」に変更
- ・「現在教育の諸相」の開講学期を「前期」から「後期」に変更
- ・「宗教学入門」の開講学期を「後期」から「前期」に変更
- ・「都市と自然」の担当教員数を変更（1名⇒3名）
- ・「情報と数理の世界」の担当教員数を変更（7名⇒5名）
- ・「地球史入門」の開講学期を「後期」から「前・後期」に変更
- ・教育効果を高めるため、科目区分「語学科目」の下記の科目の兼任教員数を追加
「IS: Health & Well-being」（1名⇒2名）、「AE: Make a Difference in Your Community」（4名⇒5名）、「CS: TOEIC Preparation」（3名⇒5名）、「EM: World News」（4名⇒5名）、「EM: Online Articles and Videos」（5名⇒6名）、「韓国語初級2」（2名⇒3名）、「スペイン語初級2」（2名⇒3名）、「日本手話初級1」（3名⇒4名）、「日本手話初級2」（2名⇒3名）
- ・「AE: Improve Life Skills」の担当教員数を変更（2名⇒1名）
- ・「EM: Reading for Inspiration」の担当教員数を変更（5名⇒4名）
- ・「中国語初級1」の担当教員（兼任）1名が就任辞退のため、担当教員数を変更（6名⇒5名）
- ・「ポルトガル入門」の開講学期を「後期」から「前・後期」に変更
- ・「ロシア語入門」の開講学期を「前期」から「前・後期」に変更
- ・「イタリア語入門」の開講学期を「後期」から「前・後期」に変更
- ・「アラビア語入門」の開講学期を「前期」から「前・後期」に変更

【令和6年度】

- ・教育課程充実のため、科目区分「一般教養科目」に下記の科目を追加
「近世名古屋の歴史」、「起業家になる」（集中講義）、「持続可能な社会と私たち」、「次世代エネルギーワークショップ」（集中講義）、「現代社会と法」、「経営学：企業と社会、個人の関係」、「国際政治」（集中講義）、「シティズンシップ入門」、「文化に見る歴史」、「音楽と文化」、「デジタル時代の人文学」（西暦奇数年開講）、「日本の宗教の歴史と文化」、「リハビリテーション概論」
- ・教育課程充実のため、科目区分「語学科目」に「CS: Writing」を追加
- ・「環境行動学と情報リテラシー」の担当教員数を変更（4名⇒3名）
- ・「平和論」の担当教員数を変更（3名⇒2名）
- ・「私たちの暮らしと政治・行政・地方自治」の担当教員を変更し、「集中講義」から「後期」に変更
- ・「東ヨーロッパの文化と歴史」を西暦奇数年開講の隔年科目に変更
- ・「都市と自然」の担当教員数を変更（3名⇒2名）
- ・教育効果を高めるため、科目区分「語学科目」の下記の科目の兼任教員数を追加
「IS: Social Justice」（1名⇒2名）、「AE: Improve Life Skills」（1名⇒2名）、「CS: Presentation」（6名⇒7名）、「CS: TOEIC Preparation」（5名⇒6名）、「EM: World News」（5名⇒6名）、「EM: Popular Culture」（4名⇒5名）
- ・「CS: Grammar and Usage」の担当教員数を変更（5名⇒4名）
- ・「ドイツ語初級1」の担当教員数を変更（4名⇒3名）
- ・「ドイツ語初級2」の担当教員数を変更（3名⇒2名）
- ・「中国語初級2」の担当教員数を変更（5名⇒4名）
- ・「日本手話初級2」の担当教員数を変更（3名⇒2名）

【令和7年度】

- ・令和7年度より改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）を適用。
- ・教育課程充実のため、科目区分「データサイエンス応用科目」に「医療情報学」を追加。
- ・教育課程充実のため、科目区分「一般教養科目」に「ソーシャルデザイン実践編」を追加。
- ・「日本国憲法」の担当教員数を変更（2名⇒1名）
- ・「経済学：経済学の考え方」の担当教員数を変更（1名⇒3名）
- ・「経営学：企業と社会、個人の関係」の担当教員数を変更（5名⇒4名）
- ・「文化に見る歴史」の開講学期を「前期」から「後期」に変更
- ・「都市と自然」の担当教員数を変更（2名⇒3名）
- ・「リハビリテーション概論」の担当教員数を変更（2名⇒4名）
- ・「IS: Health & Well-being」の担当教員数を変更（2名⇒1名）
- ・「IS: The Arts」の担当教員数を変更（1名⇒2名）
- ・「AE: Make a Difference in Your Community」の担当教員数を変更（2名⇒1名）
- ・「AE: Interact Internationally」の担当教員数を変更（1名⇒2名）
- ・「CS: Presentation」の担当教員数を変更（7名⇒6名）
- ・「EM: World News」の担当教員数を変更（6名⇒7名）
- ・「EM: Reading for Inspiration」の担当教員数を変更（4名⇒3名）
- ・「EM: Online Articles and Videos」の担当教員数を変更（6名⇒7名）
- ・「中国語初級1」の担当教員数を変更（5名⇒6名）
- ・「中国語初級2」の担当教員数を変更（4名⇒5名）
- ・「韓国語初級1」の担当教員数を変更（3名⇒4名）
- ・「健康・スポーツ科学」の担当教員数を変更（4名⇒3名）

- (注) 2. (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧がキリウムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	116 科目	0 科目	138 科目	22 科目 []	130 科目 [14]	0 科目 []	152 科目 [14]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	シティズンシップ入門	2	1後	一般	選択	担当教員が令和6年度9月に退任したことから、担当可能な教員が不足したため未開講となった。代替措置については、一般教養科目のカリキュラムの充実などを図っている。
2	キー・コンピテンシー	2	1後	一般	選択	担当教員が令和6年度9月に退任したことから、担当可能な教員が不足したため未開講となった。代替措置については、一般教養科目のカリキュラムの充実などを図っている。
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>大学の所見：「シティズンシップ入門」及び「キー・コンピテンシー」は教養教育科目の下に配置されており、いずれも科目区分・一般教養科目に属している。一般教養科目には、開設時からの42科目に加え、教育課程の充実のために12科目を追加している。学生の卒業要件は一般教養科目から16単位以上単位修得することと定めている。「シティズンシップ入門」及び「キー・コンピテンシー」が未開講となっても、一般教養教育科目だけでも他に52科目あり、社会課題や社会問題に関する科目は数多く開講しており、教育及び履修に支障はない。</p> <p>学生への周知方法：未開講科目については学生へポータルサイトを通して周知し、履修登録も円滑に行われている。</p>
--

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{138} = \boxed{1.44}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	名古屋市民病院内の本 学医学部附属病院化に伴い 校舎敷地を修正 (5)	
	校 舎 敷 地	262,122.43㎡ 253,627.71㎡	0㎡	0㎡	262,122.43㎡ 253,627.71㎡		
	そ の 他	6,296.06㎡	0㎡	0㎡	6,296.06㎡		
	合 計	268,418.49㎡ 259,923.77㎡	0㎡	0㎡	268,418.49㎡ 259,923.77㎡		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	記載誤りの修正 (5) 医学部保健医療学科の設置 に伴い委校舎を整備 借用地積：1,279.56㎡ 借用地積：年度更新 (6) 委校舎借用地積増加に伴う 修正 (7) 名東校舎面積算出方法変更 に伴う修正 (7)		
	136,204.70㎡ 126,595.06㎡ 125,315.5㎡ 125,268.4㎡ (131,665.59㎡) (126,595.06㎡) (125,315.5㎡) (125,268.4㎡)	689.24㎡ 0㎡	(0 ㎡)	(0 ㎡)		136,893.94㎡ 126,595.06㎡ 125,315.5㎡ 125,268.4㎡ (131,665.59㎡) (126,595.06㎡) (125,315.5㎡) (125,268.4㎡)	
(3) 教室・教員研究室	教 室	379室 377室	教員研究室	14室	大学全体 教室の用途変更に伴う修正 (7)		
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕		
	データサイエ ンス学部	586,603 [183,721]	3,013 [179]	8,497 [2,448] 6,797 [2,238]	43,121 [41,560] 40,199 [38,673] 41,754 [40,251] 40,403 [38,962]	755	6,372 6,305 5,999 5,760
		(580,421 [182,957]) (579,428 [182,962]) (578,782 [182,994]) (573,409 [182,405])	2,863 [179]	(8,497 [2,448]) (6,648 [2,223]) (6,643 [2,222])	(43,121 [41,560]) (40,199 [38,673]) (41,754 [40,251]) (40,403 [38,962])	(755)	(6,372) (6,305) (5,999) (5,760)
計	586,603 [183,721]	3,013 [179]	8,497 [2,448] 6,797 [2,238]	43,121 [41,560] 40,199 [38,673] 41,754 [40,251] 40,403 [38,962]	755	6,372 6,305 5,999 5,760	
(580,421 [182,957]) (579,428 [182,962]) (578,782 [182,994]) (573,409 [182,405])	2,863 [179]	(8,497 [2,448]) (6,648 [2,223]) (6,643 [2,222])	(43,121 [41,560]) (40,199 [38,673]) (41,754 [40,251]) (40,403 [38,962])	(755)	(6,372) (6,305) (5,999) (5,760)		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講 堂		厚生補導施設		大学全体
	18,311.63㎡		571.34㎡		12,388.67㎡		
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		507千円 562千円	504千円 508千円 507千円 562千円	図書購入費	2,685千円 10,907千円	2,861千円 2,685千円 10,907千円	3,181千円 2,861千円 2,685千円 10,907千円
	教員 1 人 当 り 研 究 費 等						
	82,022千円 79,522千円	92,602千円 91,900千円 82,022千円 79,522千円	設備購入費	75,387千円 75,808千円	215,139千円 75,387千円 75,808千円	208,168千円 215,139千円 75,387千円 75,808千円	
共同研究費等							
学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	学生 1 人 当 り 納 付 金 の 第 1 年 次 上 段 は 名 古 屋 市 民 、 下 段 は そ の 他
	767.8千円 867.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金をもって充当する					

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び
「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋市立大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.0倍以上の学科数	0			
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(A0期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人			倍	倍	年度	年度		
データサイエンス学部	4	80	-	240			1.00	-	-		-	
データサイエンス学	4	80	-	240	学士(データサイエンス)		1.00	-	-	令和5	愛知県名古屋瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地	
医学部		297	-	782	-		1.00	-	-		-	
医学科	6	97	-	582	学士(医学)		1.00	-	-	昭和25	愛知県名古屋瑞穂区瑞穂町字川澄1番地	地域推薦枠(7名)
保健医療学科	4	200	-	200	-		1.00	-	-		同上	
看護学専攻	4	120	-	120	学士(看護学)		1.00	-	-	令和7	同上	
リハビリテーション専攻	4	80	-	80	-		1.00	-	-		同上	
理学療法学コース	4	(40)	-	(40)	学士(理学療法学)		1.00	-	-	令和7	同上	
作業療法学コース	4	(40)	-	(40)	学士(作業療法学)		1.00	-	-	令和7	同上	
薬学部		115	-	585	-		1.03	1.02	-		-	令和6年度入学生より学生募集停止
薬学科	6	65	-	385	学士(薬学)		1.01	1.00	-	平成18	愛知県名古屋瑞穂区田辺通3丁目1番地	
生命薬科学科	4	50	-	200	学士(薬科学)		1.08	1.05	-	平成18	同上	
経済学部	4	265	-	1,030	-		1.07	1.03	-		-	
公共政策学科	4	-	-	300	学士(経済学)		-	-	-	平成19	愛知県名古屋瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地	令和7年度入学生より学生募集停止
マネジメントシステム学科	4	-	-	266	学士(経営学)		-	-	-	平成19	同上	令和7年度入学生より学生募集停止
会計ファイナンス学科	4	-	-	199	学士(経営学)		-	-	-	平成19	同上	令和7年度入学生より学生募集停止
経済経営学科	4	265	-	265	学士(経済学又は経営学)		1.05	1.05	-	令和7	同上	
人文社会学部	4	225	-	829	-		1.07	1.03	-		-	
心理教育学科	4	84	-	271	学士(人文社会学)		1.04	1.03	-	平成25	愛知県名古屋瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地	令和5年度より定員増(5名) 令和6年度3年次編入廃止 定員減(2名) 令和7年度より定員増(20名)
現代社会学科	4	70	-	277	学士(人文社会学)		1.06	1.03	-	平成25	同上	令和5年度より定員増(3名) 令和6年度3年次編入廃止 定員減(6名)
国際文化学科	4	71	-	281	学士(人文社会学)		1.10	1.02	-	平成25	同上	令和5年度より定員増(3名) 令和6年度3年次編入廃止 定員減(4名)
芸術工学部	4	103	-	427	-		1.00	0.95	-		-	
情報環境デザイン学科	4	31	-	130	学士(芸術工学)		1.07	1.00	-	平成24	愛知県名古屋瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地	令和8年度入学生より学生募集停止
産業イノベーションデザイン学科	4	31	-	127	学士(芸術工学)		1.04	1.03	-	平成24	同上	令和8年度入学生より学生募集停止
建築都市デザイン学科	4	41	-	170	学士(芸術工学)		1.05	0.99	-	平成24	同上	令和8年度入学生より学生募集停止
看護学部	4	120	-	400	-		0.99	0.99	-		-	
看護学科	4	120	-	400	学士(看護学)		0.99	0.99	-	平成11	愛知県名古屋瑞穂区瑞穂町字川澄1番地	令和7年度入学生より学生募集停止
総合生命理学部	4	43	-	172	-		1.05	1.01	-		-	
総合生命理学科	4	43	-	172	学士(理学)		1.05	1.01	-	平成30	愛知県名古屋瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地	
大学全体	-	1,248	-	4,465	-		-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

- ・なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- ・履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- ・開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- ・算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開採用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
- ・詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和5年度】		【令和6年度】		【令和7年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名	
専	教授	経営学：企業活動の諸相 データサイエンス入門※ 線形代数1(行列と行列式) 統計分析基礎2(確率論、推測統計基礎) 統計分析基礎3(推測統計展開) 実践データサイエンス活用(特別講義) 確率統計解析※ 金融工学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	教授	専	教授	基(主専)	教授
		データサイエンス入門※ 情報処理2(C++プログラミング、R、Python統計)※ データ構造とアルゴリズム論 実践データサイエンス活用(特別講義) 画像処理とパターン認識※ 人間工学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	教授	専	教授	基(主専)	教授
		データサイエンス入門※ 線形代数2(線形空間論) データマイニング※ 多変量解析2(主成分・因子分析、判別分析)※ 計測装置・自然観測論 ビッグデータ活用※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	教授	専	教授	基(主専)	教授
		データサイエンス入門※ 微積分学1(1変数の微積分学) 情報処理2(C++プログラミング、R、Python統計)※ 数理モデルとシミュレーション 確率統計解析※ 計算機シミュレーション PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	教授	専	教授	基(主専)	教授
		データサイエンス入門※ 線形代数1(行列と行列式) 統計分析基礎2(確率論、推測統計基礎) 統計分析基礎3(推測統計展開) 実践データサイエンス活用(特別講義) 確率統計解析※ 金融工学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2						
		データサイエンス入門※ 情報処理2(C++プログラミング、R、Python統計)※ データ構造とアルゴリズム論 実践データサイエンス活用(特別講義) 画像処理とパターン認識※ 人間工学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2						
		データサイエンス入門※ 線形代数2(線形空間論) データマイニング※ 多変量解析2(主成分・因子分析、判別分析)※ 計測装置・自然観測論 ビッグデータ活用※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2						
		データサイエンス入門※ 微積分学1(1変数の微積分学) 情報処理2(C++プログラミング、R、Python統計)※ 数理モデルとシミュレーション 確率統計解析※ 計算機シミュレーション PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	情報処理1 (R, Python, Excelマクロスクリプト作成) ※ データサイエンス入門※ 統計分析基礎1 (記述統計と多変量解析の基礎) 財務情報と経営分析 ビッグデータ活用※ 財務情報分析 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	データサイエンス入門※ 多変量解析1 (回帰分析) マクロ経済学※ ベイズ統計 計量経済学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	情報処理1 (R, Python, Excelマクロスクリプト作成) ※ データサイエンス入門※ 実験計画法 医療とデータサイエンス※ データ調査技法 レギュラトリーサイエンス PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	データサイエンス入門※ 機械学習基礎 人工知能概論 機械学習発展※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	データサイエンス入門※ 微積分学2 (多変数関数と応用解析) 情報科学概論 情報数学 応用情報数学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	准教授	データサイエンス入門※ データベース データマイニング※ 機械学習発展※ 情報アクセスシステム PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	情報処理1 (R, Python, Excelマクロスクリプト作成) ※ データサイエンス入門※ 統計分析基礎1 (記述統計と多変量解析の基礎) 財務情報と経営分析 ビッグデータ活用※ 財務情報分析 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	データサイエンス入門※ 多変量解析1 (回帰分析) マクロ経済学※ ベイズ統計 計量経済学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	情報処理1 (R, Python, Excelマクロスクリプト作成) ※ データサイエンス入門※ 実験計画法 医療とデータサイエンス※ データ調査技法 レギュラトリーサイエンス PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	データサイエンス入門※ 機械学習基礎 人工知能概論 機械学習発展※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	データサイエンス入門※ 微積分学2 (多変数関数と応用解析) 情報科学概論 情報数学 応用情報数学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	准教授	データサイエンス入門※ データベース データマイニング※ 機械学習発展※ 情報アクセスシステム PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	情報処理1 (R, Python, Excelマクロスクリプト作成) ※ データサイエンス入門※ 統計分析基礎1 (記述統計と多変量解析の基礎) 財務情報と経営分析 ビッグデータ活用※ 財務情報分析 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	データサイエンス入門※ 多変量解析1 (回帰分析) マクロ経済学※ ベイズ統計 計量経済学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	情報処理1 (R, Python, Excelマクロスクリプト作成) ※ データサイエンス入門※ 実験計画法 医療とデータサイエンス※ データ調査技法 レギュラトリーサイエンス PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	データサイエンス入門※ 機械学習基礎 人工知能概論 機械学習発展※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	教授	データサイエンス入門※ 微積分学2 (多変数関数と応用解析) 情報科学概論 情報数学 応用情報数学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	准教授	データサイエンス入門※ データベース データマイニング※ 機械学習発展※ 情報アクセスシステム PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	情報処理1 (R, Python, Excelマクロスクリプト作成) ※ データサイエンス入門※ 統計分析基礎1 (記述統計と多変量解析の基礎) 財務情報と経営分析 ビッグデータ活用※ 財務情報分析 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
基(主専)	教授	データサイエンス入門※ 多変量解析1 (回帰分析) マクロ経済学※ ベイズ統計 計量経済学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
基(主専)	教授	情報処理1 (R, Python, Excelマクロスクリプト作成) ※ データサイエンス入門※ 実験計画法 医療とデータサイエンス※ データ調査技法 レギュラトリーサイエンス PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
基(主専)	教授	データサイエンス入門※ 機械学習基礎 人工知能概論 機械学習発展※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
基(主専)	教授	データサイエンス入門※ 微積分学2 (多変数関数と応用解析) 情報科学概論 情報数学 応用情報数学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
基(主専)	准教授	データサイエンス入門※ データベース データマイニング※ 機械学習発展※ 情報アクセスシステム PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	データサイエンス入門※ 医療とデータサイエンス※ 多変量解析2(主成分・因子分析、判別分析)※ ビッグデータ活用※ 応用統計(医療統計) 社会医療情報 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	准教授	データサイエンス入門※ 医療とデータサイエンス※ 多変量解析2(主成分・因子分析、判別分析)※ ビッグデータ活用※ 応用統計(医療統計) 社会医療情報 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	准教授	データサイエンス入門※ 医療とデータサイエンス※ 多変量解析2(主成分・因子分析、判別分析)※ ビッグデータ活用※ 応用統計(医療統計) 社会医療情報 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	基(主専)	准教授	データサイエンス入門※ 医療とデータサイエンス※ 多変量解析2(主成分・因子分析、判別分析)※ ビッグデータ活用※ 応用統計(医療統計) 社会医療情報 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	准教授	情報処理1(R,Python,Excelマクロスクリプト作成)※ データサイエンス入門※ データ処理と可視化 医療とデータサイエンス※ 健康情報学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	准教授	情報処理1(R,Python,Excelマクロスクリプト作成)※ データサイエンス入門※ データ処理と可視化 医療とデータサイエンス※ 健康情報学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	准教授	情報処理1(R,Python,Excelマクロスクリプト作成)※ データサイエンス入門※ データ処理と可視化 医療とデータサイエンス※ 健康情報学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	基(主専)	准教授	情報処理1(R,Python,Excelマクロスクリプト作成)※ データサイエンス入門※ データ処理と可視化 医療とデータサイエンス※ 健康情報学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	准教授	データサイエンス入門※ 情報の法とセキュリティ※ テキストマイニング 情報処理3(C言語・Pythonプログラミング) 画像処理とパターン認識※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	准教授	データサイエンス入門※ 情報の法とセキュリティ※ テキストマイニング 情報処理3(C言語・Pythonプログラミング) 画像処理とパターン認識※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	准教授	データサイエンス入門※ 情報の法とセキュリティ※ テキストマイニング 情報処理3(C言語・Pythonプログラミング) 画像処理とパターン認識※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	基(主専)	教授	データサイエンス入門※ 情報の法とセキュリティ※ テキストマイニング 情報処理3(C言語・Pythonプログラミング) 画像処理とパターン認識※ PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
専	講師	データサイエンス入門※ 情報処理2(C++プログラミング、R、Python統計)※ マイクロ経済学※ 応用経済理論 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	准教授	データサイエンス入門※ 情報処理2(C++プログラミング、R、Python統計)※ マイクロ経済学※ 応用経済理論 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	専	准教授	データサイエンス入門※ 情報処理2(C++プログラミング、R、Python統計)※ マイクロ経済学※ 応用経済理論 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	基(主専)	准教授	データサイエンス入門※ 情報処理2(C++プログラミング、R、Python統計)※ マイクロ経済学※ 応用経済理論 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
						専	准教授	情報処理1(R,Python,Excelマクロスクリプト作成)※ データサイエンス入門※ 実験計画法 医療とデータサイエンス※ データ調査技法 レギュラトリーサイエンス PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2	基(主専)	准教授	情報処理1(R,Python,Excelマクロスクリプト作成)※ データサイエンス入門※ 実験計画法 医療とデータサイエンス※ データ調査技法 レギュラトリーサイエンス PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2
									基(主専)	准教授	情報処理1(R,Python,Excelマクロスクリプト作成)※ データサイエンス入門※ データ処理と可視化 医療とデータサイエンス※ 健康情報学 PBL演習1 PBL演習2 PBL演習3 PBL演習4 卒業研究1 卒業研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	情報の法とセキュリティ※ 日本国憲法
兼任	教授	ベンチャー経営
兼任	教授	財政学
兼任	教授	国際経済学
兼任	教授	マーケティングサイエンス
兼任	教授	社会人になるA 社会人になるB 健康・スポーツ科学※
兼任	教授	社会学A※
兼任	教授	社会学B
兼任	教授	平和論※
兼任	教授	フィールド研究からみるアジア※
兼任	教授	キー・コンピテンシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	情報の法とセキュリティ※ 日本国憲法
兼任	教授	ベンチャー経営
兼任	教授	財政学
兼任	教授	国際経済学
兼任	准教授	マーケティングサイエンス
兼任	教授	社会人になるA 社会人になるB 健康・スポーツ科学※
兼任	教授	社会学A※
兼任	教授	社会学B
兼任	講師	平和論※
兼任	教授	キー・コンピテンシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	医療情報学 実践データサイエンス活用※ PBL演習1 PBL演習2
兼任	講師	情報の法とセキュリティ※ 日本国憲法 現代社会と法
兼任	教授	ベンチャー経営 起業家になる 次世代エネルギーワーク ショップ
兼任	教授	財政学
兼任	教授	国際経済学
兼任	准教授	マーケティングサイエンス
兼任	教授	社会人になるA 社会人になるB 健康・スポーツ科学※
兼任	教授	社会学B
兼任	教授	キー・コンピテンシー シティズンシップ入門

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	准教授	医療情報学 実践データサイエンス活用※ PBL演習1 PBL演習2
その他	教授	ベンチャー経営 起業家になる 次世代エネルギーワークショップ
その他	教授	財政学
その他	教授	国際経済学
その他	准教授	マーケティングサイエンス
その他	教授	社会人になるA 社会人になるB 健康・スポーツ科学※
その他	教授	社会学B
その他	教授	キー・コンピテンシー シティズンシップ入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東ヨーロッパの文化と歴史
兼任	教授	自分とみんなで考える哲学
兼任	教授	心理学入門
兼任	教授	現代教育の諸相※
兼任	教授	次世代育成と地域の課題※
兼任	教授	次世代育成と地域の課題※
兼任	教授	宗教学入門
兼任	教授	宇宙のなりたち
兼任	教授	植物とバイオテクノロジー
兼任	教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	教授	バイオサイエンス入門※
兼任	教授	バイオサイエンス入門※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東ヨーロッパの文化と歴史
兼任	教授	自分とみんなで考える哲学
兼任	教授	心理学入門
兼任	教授	現代教育の諸相※
兼任	教授	次世代育成と地域の課題※
兼任	教授	次世代育成と地域の課題※
兼任	講師	宗教学入門
兼任	教授	宇宙のなりたち
兼任	教授	植物とバイオテクノロジー
兼任	教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	教授	バイオサイエンス入門※
兼任	教授	バイオサイエンス入門※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東ヨーロッパの文化と歴史
兼任	教授	自分とみんなで考える哲学 私たちの暮らしと政治・行政・地方自治
兼任	教授	心理学入門
兼任	教授	次世代育成と地域の課題※
兼任	教授	次世代育成と地域の課題※
兼任	講師	宗教学入門 日本の宗教の歴史と文化
兼任	教授	植物とバイオテクノロジー
兼任	教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	教授	バイオサイエンス入門※
兼任	教授	バイオサイエンス入門※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	東ヨーロッパの文化と歴史
その他	教授	自分とみんなで考える哲学 私たちの暮らしと政治・行政・地方自治
その他	教授	心理学入門
その他	教授	次世代育成と地域の課題※
その他	教授	次世代育成と地域の課題※
その他	講師	宗教学入門 日本の宗教の歴史と文化
その他	教授	植物とバイオテクノロジー
その他	教授	エネルギーのサイエンス※
その他	教授	バイオサイエンス入門※
その他	教授	バイオサイエンス入門※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	CS: Grammar and Usage
兼任	教授	フランス語初級1 フランス語初級2
兼任	教授	金融論
兼任	教授	経営戦略
兼任	教授	情報と数理の世界※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	CS: Grammar and Usage
兼任	教授	フランス語初級1 フランス語初級2 現代教育の諸相※
兼任	教授	金融論 経済学：経済と社会
兼任	教授	経営戦略
兼任	教授	経営学：企業活動の諸相※
兼任	教授	環境行動学と情報リテラシー※
兼任	教授	環境行動学と情報リテラシー※
兼任	教授	環境行動学と情報リテラシー※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	CS: Grammar and Usage
兼任	教授	フランス語初級1 フランス語初級2 現代教育の諸相※
兼任	教授	金融論
兼任	教授	経営戦略 経営学：企業と社会、個人の関係※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	情報と数理の世界※
その他	教授	情報と数理の世界※
その他	教授	情報と数理の世界※
その他	教授	フランス語初級1 フランス語初級2 現代教育の諸相※
その他	教授	金融論 経済学：経済と社会
その他	教授	経営戦略 経営学：企業と社会、個人の関係※
その他	教授	経営学：組織を取り巻く諸環境について※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	経済学：経済学の考え方
兼任	准教授	経営学：組織を取り巻く諸環境について※
兼任	准教授	経営学：組織を取り巻く諸環境について※
兼任	准教授	平和論※
兼任	准教授	平和論※
兼任	准教授	私たちの暮らしと政治・行政・地方自治
兼任	准教授	フィールド研究からみるアジア※ EM: Reading for Inspiration
兼任	准教授	フィールド研究からみるアジア※ EM: Online Articles and Videos
兼任	准教授	心理学概論
兼任	准教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	経済学：経済学の考え方
兼任	准教授	経営学：組織を取り巻く諸環境について※ 経営学：企業活動の諸相※
兼任	准教授	経営学：組織を取り巻く諸環境について※ 経営学：企業活動の諸相※
兼任	准教授	平和論※
兼任	准教授	平和論※
兼任	准教授	私たちの暮らしと政治・行政・地方自治
兼任	准教授	EM: Reading for Inspiration
兼任	准教授	EM: Online Articles and Videos
兼任	准教授	心理学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	経済学：経済と社会
兼任	准教授	経営学：組織を取り巻く諸環境について※
兼任	准教授	平和論※
兼任	准教授	平和論※
兼任	准教授	EM: Reading for Inspiration
兼任	准教授	心理学概論
兼任	准教授	

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	リハビリテーション概論※
その他	教授	都市と自然※
その他	准教授	経済学：経済学の考え方※
その他	准教授	経営学：組織を取り巻く諸環境について※ 経営学：企業活動の諸相
その他	准教授	平和論※
その他	准教授	平和論※
その他	准教授	EM: Reading for Inspiration
その他	准教授	心理学概論
その他	准教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 現代教育の諸相※
兼任	准教授	都市と自然
兼任	准教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	准教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	准教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	准教授	バイオサイエンス入門※
兼任	准教授	経済学：経済のしくみ
兼任	准教授	情報と数理の世界※
兼任	准教授	情報と数理の世界※
兼任	准教授	EM: World News
兼任	准教授	EM: Popular Culture
兼任	准教授	健康・スポーツ科学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	都市と自然※
兼任	准教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	准教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	准教授	バイオサイエンス入門※
兼任	准教授	経済学：経済のしくみ
兼任	准教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	EM: World News
兼任	准教授	EM: Popular Culture
兼任	准教授	健康・スポーツ科学※
兼任	准教授	日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 持続可能な社会と私たち
兼任	准教授	都市と自然※
兼任	准教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	准教授	エネルギーのサイエンス※
兼任	准教授	バイオサイエンス入門※
兼任	准教授	情報と数理の世界※
兼任	教授	EM: World News
兼任	准教授	EM: Popular Culture
兼任	教授	健康・スポーツ科学※
兼任	准教授	日本国憲法

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 持続可能な社会と私たち
その他	准教授	都市と自然※
その他	准教授	エネルギーのサイエンス※
その他	准教授	エネルギーのサイエンス※
その他	准教授	バイオサイエンス入門※
その他	准教授	情報と数理の世界※
その他	教授	EM: World News
その他	准教授	EM: Popular Culture
その他	教授	健康・スポーツ科学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	経済学：経済と社会
兼任	講師	社会学C
兼任	講師	環境行動学と情報リテラシー
兼任	講師	EM: Reading for Inspiration
兼任	助教	情報と数理の世界※
兼任	講師	情報通信基礎とIoT
兼任	講師	名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題
兼任	講師	ESDと地域の環境
兼任	講師	なぜ憲法が必要なのか

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	社会学C
兼任	講師	環境行動学と情報リテラシー※
兼任	准教授	イタリア語入門
兼任	助教	情報と数理の世界※
兼任	講師	情報通信基礎とIoT
兼任	講師	名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題
兼任	講師	ESDと地域の環境
兼任	講師	なぜ憲法が必要なのか

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	社会学C
兼任	講師	環境行動学と情報リテラシー※
兼任	准教授	イタリア語入門
兼任	講師	経営学：企業と社会、個人の関係※
兼任	講師	社会学A※
兼任	助教	情報と数理の世界※
兼任	講師	情報通信基礎とIoT
兼任	講師	ESDと地域の環境
兼任	講師	なぜ憲法が必要なのか

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	社会学C
その他	講師	環境行動学と情報リテラシー※
その他	准教授	イタリア語入門
その他	准教授	日本国憲法 現代社会と法
その他	講師	経営学：企業と社会、個人の関係※
その他	講師	社会学A※
その他	講師	情報と数理の世界※
その他	准教授	情報通信基礎とIoT
その他	講師	ESDと地域の環境
その他	講師	なぜ憲法が必要なのか

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
		人と法と医療※
兼任	講師	
		人と法と医療※
兼任	講師	
		社会学A※
兼任	講師	
		フィールド研究からみるアジア※
兼任	講師	
		人類学
兼任	講師	
		日本語コミュニケーション
兼任	講師	
		囲碁に学ぶ
兼任	講師	
		欧州史の中の北欧史
兼任	講師	
		アメリカ史入門
兼任	講師	
		都市と地域構造の地理学
兼任	講師	
		科学史
兼任	講師	
		エネルギーのサイエンス※
兼任	講師	
		地球史入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
		人と法と医療※
兼任	講師	
		人と法と医療※
兼任	講師	
		社会学A※
兼任	講師	
		人類学
兼任	講師	
		日本語コミュニケーション
兼任	講師	
		囲碁に学ぶ
兼任	講師	
		欧州史の中の北欧史
兼任	講師	
		アメリカ史入門
兼任	講師	
		都市と地域構造の地理学
兼任	講師	
		科学史
兼任	講師	
		エネルギーのサイエンス※
兼任	講師	
		地球史入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
		人と法と医療※
兼任	講師	
		人と法と医療※
兼任	講師	
		社会学A※
兼任	講師	
		人類学
兼任	講師	
		日本語コミュニケーション
兼任	講師	
		囲碁に学ぶ
兼任	講師	
		欧州史の中の北欧史
兼任	講師	
		アメリカ史入門
兼任	講師	
		都市と地域構造の地理学
兼任	講師	
		科学史
兼任	講師	
		エネルギーのサイエンス※
兼任	講師	
		地球史入門

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	
		人と法と医療※
その他	講師	
		人と法と医療※
その他	講師	
		社会学A※
その他	講師	
		人類学
その他	講師	
		日本語コミュニケーション
その他	講師	
		囲碁に学ぶ
その他	講師	
		欧州史の中の北欧史
その他	講師	
		アメリカ史入門
その他	講師	
		都市と地域構造の地理学
その他	講師	
		科学史
その他	講師	
		地球史入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	地域生態学
兼任	講師	IS: Community AE: Improve Life Skills CS: Presentation
兼任	講師	IS: Social Justice AE: Make a Difference in Your Community CS: Presentation
兼任	講師	IS: Life & Work AE: Interact Internationally CS: Presentation
兼任	講師	IS: Health & Well-being AE: Raise Health/Environmental Awareness CS: Presentation
兼任	講師	IS: The Arts AE: Produce a Movie CS: Presentation
兼任	講師	AE: Improve Life Skills EM: World News EM: Reading for Inspiration

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	地域生態学
兼任	講師	IS: Community AE: Improve Life Skills CS: Presentation
兼任	講師	IS: Social Justice AE: Make a Difference in Your Community CS: Presentation
兼任	講師	IS: Life & Work AE: Interact Internationally CS: Presentation EM: Reading for Inspiration
兼任	講師	IS: Health & Well-being AE: Raise Health/Environmental Awareness CS: Presentation
兼任	講師	IS: The Arts AE: Produce a Movie CS: Presentation
兼任	講師	EM: World News

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	地域生態学
兼任	講師	IS: Community AE: Improve Life Skills CS: Presentation
兼任	講師	IS: Social Justice AE: Make a Difference in Your Community CS: Presentation
兼任	講師	IS: Life & Work AE: Interact Internationally CS: Presentation EM: Reading for Inspiration CS: Writing
兼任	講師	IS: Health & Well-being AE: Raise Health/Environmental Awareness CS: Presentation EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	IS: The Arts AE: Produce a Movie CS: Presentation CS: Writing

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	地域生態学
その他	講師	IS: Community AE: Improve Life Skills CS: Presentation
その他	講師	IS: Social Justice AE: Make a Difference in Your Community CS: Presentation
その他	講師	IS: Life & Work AE: Interact Internationally CS: Presentation EM: Reading for Inspiration CS: Writing
その他	講師	IS: Health & Well-being AE: Raise Health/Environmental Awareness CS: Presentation EM: Online Articles and Videos
その他	講師	IS: The Arts AE: Produce a Movie CS: Presentation CS: Writing

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	CS: Presentation AE: Interact Internationally IS: The Arts
兼任	講師	CS: Grammar and Usage
兼任	講師	CS: Grammar and Usage
兼任	講師	CS: Grammar and Usage
兼任	講師	CS: TOEIC Preparation
兼任	講師	CS: TOEIC Preparation EM: World News
兼任	講師	CS: TOEIC Preparation
兼任	講師	EM: World News
兼任	講師	EM: Popular Culture
兼任	講師	EM: Popular Culture
兼任	講師	EM: Popular Culture EM: Online Articles and Videos

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	CS: Presentation IS: Health & Well-being AE: Make a Difference in Your Community
兼任	講師	CS: Grammar and Usage
兼任	講師	CS: Grammar and Usage
兼任	講師	CS: TOEIC Preparation
兼任	講師	CS: TOEIC Preparation EM: World News
兼任	講師	CS: TOEIC Preparation
兼任	講師	EM: World News
兼任	講師	EM: Popular Culture
兼任	講師	EM: Popular Culture
兼任	講師	EM: Online Articles and Videos

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	CS: Presentation IS: Health & Well-being AE: Make a Difference in Your Community
兼任	講師	CS: Grammar and Usage
兼任	講師	CS: Grammar and Usage
兼任	講師	CS: TOEIC Preparation
兼任	講師	EM: World News
兼任	講師	EM: Popular Culture
兼任	講師	EM: Popular Culture

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	CS: TOEIC Preparation
その他	講師	EM: World News
その他	講師	EM: Popular Culture
その他	講師	EM: Popular Culture

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
		EM: Reading for Inspiration
兼任	講師	
		EM: Reading for Inspiration
兼任	講師	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	
		ドイツ語初級1
兼任	講師	
		フランス語初級1 フランス語初級2
兼任	講師	
		フランス語初級1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
		EM: Reading for Inspiration GS: TOEIC Preparation
兼任	講師	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	
		ドイツ語初級1
兼任	講師	
		フランス語初級1 フランス語初級2
兼任	講師	
		フランス語初級1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
		EM: Reading for Inspiration
兼任	講師	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	
		EM: Online Articles and Videos
兼任	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
兼任	講師	
		ドイツ語初級1
兼任	講師	
		フランス語初級1 フランス語初級2
兼任	講師	
		フランス語初級1

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	
		EM: Reading for Inspiration GS: TOEIC Preparation EM: World News EM: Reading for Inspiration
その他	講師	
		EM: Online Articles and Videos
その他	講師	
		EM: Online Articles and Videos
その他	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
その他	講師	
		ドイツ語初級1 ドイツ語初級2
その他	講師	
		ドイツ語初級1
その他	講師	
		フランス語初級1 フランス語初級2
その他	講師	
		フランス語初級1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1
兼任	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1
兼任	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2
兼任	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1
兼任	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2
兼任	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
兼任	講師	韓国語初級 1
兼任	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2
兼任	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
その他	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
その他	講師	中国語初級 1 中国語初級 2
その他	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
その他	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
その他	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
その他	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2
その他	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	スペイン語初級 1
兼任	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
兼任	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
兼任	講師	日本語初級 1
兼任	講師	ポルトガル語入門
兼任	講師	ロシア語入門
兼任	講師	イタリア語入門
兼任	講師	アラビア語入門
兼任	講師	健康・スポーツ科学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2
兼任	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
兼任	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
兼任	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
兼任	講師	ポルトガル語入門
兼任	講師	ロシア語入門
兼任	講師	アラビア語入門
兼任	講師	健康・スポーツ科学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2
兼任	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
兼任	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
兼任	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
兼任	講師	ポルトガル語入門
兼任	講師	ロシア語入門
兼任	講師	アラビア語入門
兼任	講師	健康・スポーツ科学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学※
兼任	講師	健康・スポーツ科学※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	スペイン語初級 1 スペイン語初級 2
その他	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
その他	講師	日本語初級 1 日本語初級 2
その他	講師	ポルトガル語入門
その他	講師	ロシア語入門
その他	講師	アラビア語入門
その他	講師	健康・スポーツ科学※
その他	講師	健康・スポーツ科学※
その他	講師	健康・スポーツ科学※
その他	講師	健康・スポーツ科学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									その他	講師	中国語初級 1
									その他	講師	韓国語初級 1 韓国語初級 2
									その他	講師	韓国語初級 1
									その他	助教	リハビリテーション概論※
									その他	助教	リハビリテーション概論※

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。

- 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の潜在年齢**を記入してください。
- 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- 専任教員について
 - 「経営学：企業活動の諸相」が経済学研究科の提供科目であるため、教授がデータサイエンス学部に移籍したことにより、担当教員を教授（専任）から教授（兼任）、准教授（兼任）、准教授（兼任）のオムニバス科目に変更。
- 兼任・兼任教員について
 - 記載誤りがあったため、准教授（兼任）の職位を修正。
 - 教授（兼任）退任により、講師（兼任）として担当。
 - 教授（兼任）の都合により「フィールド研究とアジア」を未開講とし、オムニバス科目のため、准教授（兼任）、准教授（兼任）、講師（兼任）の担当を削除。
 - 「現代教育の諸相」の担当教員を准教授（兼任）から教授（兼任）に変更。
 - 「経済学：経済と社会」の担当教員を講師（兼任）から教授（兼任）に変更。
 - 「情報と数理の世界」の担当教員数を変更（7名→5名（准教授（兼任）及び准教授（兼任）を担当から削除））
 - 「環境行動学と情報リテラシー」の担当教員を追加（1名→4名（教授（兼任）、教授（兼任）、教授（兼任）追加）し、オムニバス科目に変更。
 - 「都市と自然」の担当教員を追加（1名→3名（教授（兼任）、教授（兼任）追加）し、オムニバス科目に変更。
 - 「経済学：経済学の考え方」の担当教員を准教授（兼任）から准教授（兼任）に変更。
 - 前期・後期開講の「日本国憲法」の後期の担当教員を教授（兼任）から准教授（兼任）に変更。
 - 教育効果を高めるため担当教員を追加し、「CS: TOEIC Preparation」に准教授（兼任）就任。また、講師（兼任）の担当科目に追加。
 - 講師（兼任）の就任辞退により、講師（兼任）の担当科目を「EM: Reading for Inspiration」から「イタリア語入門」に変更。また、「EM: Reading for Inspiration」について、講師（兼任）の担当科目に追加、講師（兼任）の担当科目より削除。また、講師（兼任）の退任により講師（兼任）が就任。
 - 講師（兼任）の担当辞退により「AE: Improve Life Skills」を削除。
 - 講師（兼任）辞任により、講師（兼任）が就任し「IS: Social Justice」「AE: Make a Difference in Your Community」「CS: Presentation」を担当。
 - 講師（兼任）の担当辞退により「AE: Interact Internationally」「IS: The Arts」を削除。
 - 講師（兼任）の退任により、「CS: Grammar and Usage」の担当教員に講師（兼任）及び講師（兼任）が就任。
 - 講師（兼任）の担当辞退により「EM: Popular Culture」の担当教員に講師（兼任）が就任。
 - 講師（兼任）の退任により、「中国語初級1」の担当教員減変更（6名→5名）。
 - 講師（兼任）の退任により、講師（兼任）が就任し「韓国語初級1」「韓国語初級2」を担当。
 - 講師（兼任）が「スペイン語初級2」の担当教員に就任。
 - 講師（兼任）が「日本語初級2」の担当教員に就任。
 - 講師（兼任）が「日本語初級1」の担当教員に就任。
 - 講師（兼任）及び講師（兼任）の2名が「健康・スポーツ科学」の担当教員就任辞退。
 - 「EM: World News」の担当教員に講師（兼任）が就任。
 - 講師（兼任）が「EM: Online Articles and Videos」の担当教員に就任。

【令和6年度】

- 専任教員について
 - 令和5年8月、専任の准教授が講師から昇任。
- 兼任・兼任教員について
 - 記載誤りがあったため、教授（兼任）の年齢を修正。
 - 記載誤りがあったため、教授（兼任）の職位を修正。
 - 記載誤りがあったため、准教授（兼任）の職位を修正。
 - 記載誤りがあったため、准教授（兼任）の職位を修正。
 - 記載誤りがあったため、助教（兼任）の職位を修正。
 - 記載誤りがあったため、講師（兼任）の職位ならびに専任・兼任の別を修正。
 - 記載誤りがあったため、教授（兼任）の就任予定年月を「令和7年4月」から「令和5年4月」に変更。
 - 令和6年4月、兼任の教授が准教授から昇任。
 - 教授（兼任）退任により、講師（兼任）として担当。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「近世名古屋の歴史」に講師（兼任）就任。
 - 教育効果を高めるため担当教員を追加し、「起業家になる」「次世代エネルギーワークショップ」に教授（兼任）就任。
 - 「起業家になる」「次世代エネルギーワークショップ」の科目担当就任に伴い、教授（兼任）の就任予定年月を「令和7年4月」から「令和6年4月」に変更。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「持続可能な社会と私たち」に准教授（兼任）就任。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「現代社会と法」に講師（兼任）就任。
 - 「経済学：経済のしくみ」の担当教員を准教授（兼任）から教授（兼任）へ変更。
 - 「経済学：経済と社会」の担当教員を教授（兼任）から准教授（兼任）へ変更。
 - 「経済学：経済学の考え方」の担当教員を准教授（兼任）から准教授（兼任）へ変更。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「経営学：企業と社会、個人の関係」に教授（兼任）、准教授（兼任）、准教授（兼任）、准教授（兼任）就任。
 - 「経営学：企業活動の諸相」の担当教員を教授（兼任）、准教授（兼任）、准教授（兼任）から、教授（兼任）、教授（兼任）、教授（兼任）に変更。
 - 教授（兼任）退任により、講師（兼任）が就任し、「社会学A」を担当。
 - 教授（兼任）退任により、「環境行動学と情報リテラシー」の担当教員数を変更（4名→3名）。
 - 講師（兼任）辞任により、「平和論」の担当教員数を変更（3名→2名）。
 - 「私たちの暮らしと政治・行政・地方自治」の担当教員を准教授（兼任）から教授（兼任）に変更。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「国際政治」に講師（兼任）就任。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「シティズンシップ入門」に教授（兼任）就任。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「文化に見る歴史」に教授（兼任）就任。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「音楽と文化」に准教授（兼任）就任。
 - 教授（兼任）退任により、「現代教育の諸相」に講師（兼任）就任。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「デジタル時代の人文学」に准教授（兼任）就任予定。（令和7年9月）
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「日本の宗教の歴史と文化」に講師（兼任）就任。
 - 准教授（兼任）退任により、「都市と自然」の担当教員数を変更（3名→2名）。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「リハビリテーション概論」に教授（兼任）、教授（兼任）就任。
 - 教授（兼任）退任により、准教授（兼任）が就任し、「宇宙のなりたち」を担当。
 - 講師（兼任）が「IS: Social Justice」「AE: Improve Life Skills」「CS: Presentation」の担当教員として就任し、各科目の担当教員数を変更（1名→2名）、（1名→2名）、（6名→7名）。
 - 教授（兼任）退任及び講師（兼任）辞任、また教授の後任補充として准教授（兼任）が就任したことにより「CS: Grammar and Usage」の担当教員数を変更（5名→4名）。
 - 講師（兼任）及び講師（兼任）の担当辞退、講師（兼任）辞任により各担当科目から「CS: TOEIC Preparation」を削除。新たに講師（兼任）、講師（兼任）、講師（兼任）が就任したことにより、「CS: TOEIC Preparation」の担当教員数を変更（5名→6名）。
 - 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「CS: Writing」に講師（兼任）、講師（兼任）就任。
 - 講師（兼任）及び講師（兼任）の辞任により各担当科目から「EM: World News」を削除。新たに講師（兼任）、講師（兼任）、講師（兼任）が就任したことにより、「EM: World News」の担当教員数を変更（5名→6名）。
 - 講師（兼任）就任により、「EM: Popular Culture」の担当教員数を変更（4名→5名）。
 - 准教授（兼任）辞任、講師（兼任）退任及び講師（兼任）担当辞退により、各担当科目から「EM: Online Articles and Videos」を削除。新たに講師（兼任）及び講師（兼任）が就任し、講師（兼任）が担当教員に追加された。
 - 講師（兼任）辞任により、「ドイツ語初級1」「ドイツ語初級2」の各科目の担当教員数を変更（4名→3名）、（3名→2名）。
 - 講師（兼任）退任により、講師（兼任）が就任し「中国語初級1」を担当。
 - 講師（兼任）退任により、「中国語初級2」の担当教員数を変更（5名→4名）。
 - 講師（兼任）退任により、講師（兼任）が就任し「日本語初級1」を担当。
 - 講師（兼任）退任により、「日本語初級2」の担当教員数を変更（3名→2名）。

【令和7年度】

1. 基幹教員について
- ・令和7年4月、基（主専）の 教授が准教授から昇任。
 - ・ 教授（基（主専））の辞任により、 准教授（基（主専））が就任し「情報処理1（R,Python,Excelマクロスクリプト作成）」「データサイエンス入門」「実験計画法」「医療とデータサイエンス」「データ調査技法」「レギュラトリーサイエンス」「PBL演習1」「PBL演習2」「PBL演習3」「PBL演習4」「卒業研究1」「卒業研究2」を担当。
 - ・ 准教授（基（主専））の辞任により、 准教授（基（主専））が就任し「情報処理1（R,Python,Excelマクロスクリプト作成）」「データサイエンス入門」「データ処理と可視化」「医療とデータサイエンス」「健康情報学」「PBL演習1」「PBL演習2」「PBL演習3」「PBL演習4」「卒業研究1」「卒業研究2」を担当。
 - ・ 准教授（基（主専））が就任し、「実践データサイエンス活用」の担当を 教授（基（主専））と 教授（基（主専））から 教授（基（主専））と 准教授（基（主専））に変更するとともに、「医療情報学」「PBL演習1」「PBL演習2」を担当。
 - ・ 「実践データサイエンス活用」を共同開講からオムニバスに変更。
2. その他教員について
- ・令和7年4月、 教授（その他）が准教授から昇任。
 - ・ 教授（その他）の辞任により、 講師（その他）が就任し「情報の法とセキュリティ」を担当。
 - ・ 教授（その他）の辞任により「日本国憲法」を担当の担当教員数を変更（2名→1名）。
 - ・ 教授（その他）の辞任により、 准教授（その他）が就任し「現代社会と法」を担当。
 - ・ 教育課程充実のため追加した科目の担当教員として、「ソーシャル・デザイン実践編」に 講師（その他）就任。
 - ・ 准教授（その他）の退任により、 准教授（その他）が就任し「日本国憲法」を担当。
 - ・ 「経済学：経済のしくみ」の担当教員を 教授（その他）から 教授（その他）に変更。
 - ・ 「経済学：経済と社会」の担当教員を 准教授（その他）から 教授（その他）に変更。
 - ・ 「経済学：経済学の考え方」の担当教員を 准教授（その他）から 教授（その他）、 教授（その他）、 准教授（その他）に変更。
 - ・ 「経営学：企業と社会、個人の関係」の担当教員を変更（5名→4名（ 教授（その他）及び 准教授（その他）を担当から削除し、 教授（その他）が追加）。
 - ・ 「経営学：企業活動の諸相」の担当教員を 准教授（その他）から 准教授（その他）に変更。
 - ・ 「経営学：組織を取り巻く諸環境について」の担当教員を 准教授（その他）から 教授（その他）に変更。
 - ・ 「環境行動学と情報リテラシー」の担当教員を 教授（その他）から 教授（その他）に変更。
 - ・ 講師（その他）の退任により、 講師（その他）が就任し「国際政治」を担当。
 - ・ 「文化に見る歴史」の担当教員を 教授（その他）から 教授（その他）に変更。
 - ・ 「都市と自然」の担当教員を 教授（その他）から 教授（その他）に変更。
 - ・ 講師（その他）の就任により、「都市と自然」の担当教員数を変更（2名→3名）。
 - ・ 教授（その他）及び 教授（その他）の辞任、また 教授（その他）、 講師（その他）、 助教（その他）、 助教（その他）の就任により、「リハビリテーション概論」の担当及び担当教員数を変更（2名→4名）。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、講師（その他）が就任し「エネルギーのサイエンス」を担当。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、「CS: Presentation」「IS: Health & Well-being」「AE: Make a Difference in Your Community」より当該教員を削除。担当教員数を変更（2名→1名）。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、「IS: Life & Work」「AE: Interact Internationally」「CS: Presentation」「EM: Reading for Inspiration」「CS: Writing」から削除。
 - ・ 講師（その他）の就任により、「IS: The Arts」「AE: Interact Internationally」「CS: Writing」を担当し、「IS: The Arts」「AE: Interact Internationally」は担当教員数を変更。（1名→2名）。
 - ・ 講師（その他）の就任により、「IS: Life & Work」「AE: Interact Internationally」「CS: Presentation」を担当。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、 講師（その他）が就任し「CS: Grammar and Usage」を担当。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、「CS: TOEIC Preparation」「EM: World News」「EM: Popular Culture」より当該教員を削除。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、 講師（その他）が就任し、 講師（その他）とともに新たに「CS: TOEIC Preparation」を担当。
 - ・ 講師（その他）が就任し、 講師（その他）とともに新たに「EM: World News」を担当。
 - ・ 講師（その他）が就任し、「EM: Popular Culture」を担当。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、 講師（その他）及び 講師（その他）が就任し、「EM: Online Articles and Videos」を担当するとともに、担当教員数を変更（6名→7名）。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、「中国語初級1」「中国語初級2」から当該教員を削除。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、「中国語初級1」から当該教員を削除。
 - ・ 講師（その他）の就任により、「中国語初級1」を担当するとともに、担当教員数を変更（5名→6名）。
 - ・ 講師（その他）及び 講師（その他）の就任により、「中国語初級1」「中国語初級2」を担当。また、「中国語初級2」の担当教員数を変更（4名→5名）。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、「韓国語初級1」「韓国語初級2」から当該教員を削除。
 - ・ 講師（その他）の就任により「韓国語初級1」「韓国語初級2」を担当。また、 講師（その他）の就任により、「韓国語初級1」を担当。それにより、「韓国語初級1」の担当教員数を変更（3名→4名）。
 - ・ 講師（その他）の辞任により、健康・スポーツ科学の担当教員数を変更（4名→3名）。

- (注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**
 - ・ **原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**
- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります）
- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上
14 名	7 名	11 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。

- ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画(改正前大学設置基準等)							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(B'))	助手(B')
9	4	1	0	14	-	0	9	6	0	0	15	15	0
[9]	[4]	[1]	[0]	[14]	[-]	[0]	[9]	[6]	[0]	[0]	[15]	[15]	[0]
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(D'))	助手(D')
9	6	0	0	15	15	0	9	6	0	0	15	15	0
[9]	[6]	[0]	[0]	[15]	[15]	[0]	[9]	[6]	[0]	[0]	[15]	[15]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、

「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基一」及び「基専」の計)」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、

「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。

- ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
- ・「**現在(報告時)の完成年度時の状況**」には、**認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、**
[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
- ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{15}{14} = \boxed{107.14} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{15}{-} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{3}{15} = \boxed{20} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし					
2							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授			必修	情報処理1 Ⅱ Python, Excel/マクロスクリプト作成	①	
				必修	データサイエンス入門	①	
				選択	実験計画法	①	
				選択	医療とデータサイエンス	①	
				選択	データ調査技法	①	
				選択	レギュラトリーサイエンス	①	
				必修	PBL演習1	①	
				必修	PBL演習2	①	
				必修	PBL演習3	①	
				必修	PBL演習4	①	
				必修	卒業研究1	①	
				必修	卒業研究2	①	
2	准教授			必修	情報処理1 Ⅱ Python, Excel/マクロスクリプト作成	①	
				必修	データサイエンス入門	①	
				選択	データ処理と可視化	①	
				選択	医療とデータサイエンス	①	
				選択	健康情報学	①	
				必修	PBL演習1	①	
				必修	PBL演習2	①	
				必修	PBL演習3	①	
				必修	PBL演習4	①	
				必修	卒業研究1	①	
				必修	卒業研究2	①	

合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	16 科目	必修	16 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	23 科目	計	23 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
 (学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	16 科目	必修	16 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	23 科目	計	23 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{14} = 14.28 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

2 人

- (注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
2										
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教授が2024年 月 日をもって退職した。担当科目のうち「データサイエンス入門」については、辞任までの期間に 教授が授業を実施した。「情報処理1」「PBL演習1」は担当を他の基幹教員に変更して実施した。「医療とデータサイエンス」「実験計画法」は後任の 准教授が担当した。

准教授が2024年 月 日を持って退職した。「データサイエンス入門」と「情報処理1」は前期開講科目のため支障なく実施した。後期開講科目の「医療とデータサイエンス」は辞任までの期間に 准教授が授業を実施した。「データ処理と可視化」は1週間に2回分授業を実施することで支障のないようにした。

学生に対しては、本学のポータルサイトのLiveCampusにおいて専任教員の退職・就任について周知した。また補充人事を速やかに行い、教授の補充は2024年10月1日採用で 准教授を新規採用し、 准教授の補充は2025年4月1日採用で 准教授を新規採用したことで、辞任による影響を最小限に抑え、教育研究の質を担保するように努めた。

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、教育の質を管理し、あわせて教養教育、専門教育及び大学院教育を体系的に行う機関として、「名古屋市立大学全学教育機構」を置く。また、教養教育全体及び全学語学教育の企画及び実施について統括するとともに、教育及び学生支援情報を管理し、その活用を図ることにより、本学における教育改革を全体的に推進することを目的とする「高等教育院」を設置している。

また、SD研修等の検討及び実施については、総務部人事課が中心となって行っているほか、教育研究支援に資する研修等を各所管課と連携して実施している。

（別添資料：「名古屋市立大学全学教育機構規程」「名古屋市立大学高等教育院規程」「名古屋市立大学FDガイドライン」「名古屋市立大学事務職員育成プラン」）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年度は、全学教育機構会議を10回開催した。委員会には、全ての研究科から教員が参加している。

c 委員会の審議事項等

教養教育及び専門教育の一体的な推進に関すること

全学教育プログラムに係る企画、立案及び実施に関すること

学部・研究科横断型教育プログラムの推進に関すること

専門教育及び大学院教育に係る理念、教育体制のあり方、連携その他諸課題に関すること

高等教育院の所管事業に係る各学部及び研究科との連携調整に関すること

学生に対する学修支援に関すること

情報通信技術を活用した教育支援に関すること

その他機構が必要と認める事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学生を対象とした大学満足度調査
- ・ 新任教員研修
- ・ FD講演会
- ・ 教育改革フォーラム
- ・ 教育研究支援に資する研修

b 実施方法

- ・ 学生を対象とした大学満足度調査

教育内容や教育環境に対する学生の意向を把握するため、平成19年より毎年度大学満足度調査を実施し、結果を本学ウェブサイト（学内限定ページ）で公表している。

- ・ 新任教員研修

新任教員を対象に、毎年4月に実施している。実施後は速やかに本学HPへ研修の様態や成果を掲載している。

- ・ FD講演会

全学対象の講演会・講習会を各年1回程度開催し、各学部・研究科の教員が参加している。開催後、速やかに本学HPへ講演会・講習会の様態や成果を掲載するとともに、参加者からアンケートをとり、その結果を分析し次回の改善に充てている。

- ・ 教育改革フォーラム

全学的なFD推進活動の一環として、教育改革に関するフォーラムを開催している。各回でテーマを設定し、教員・職員を交えた講演、グループ討論、パネルディスカッション等を実施している。

- ・ 教育研究支援に資する研修

大学等の管理運営及び教育研究支援に必要な知識等を身につけ、能力及び資質の向上を図るための研修、教職員として求められるマネジメント能力、コミュニケーション能力、事務処理能力等の向上を図るための研修などに体系的に取り組んでいる。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 新任教員研修

令和6年度は4月22日に開催し、新任教員25名が参加した。資料をイントラに掲載。

・ FD・SD講演会

令和6年度は令和6年11月1日にZoomにて開催し、教職員161名が参加した。

テーマ：大学設置基準の改正と全国学生調査の新展開

・ 教育改革フォーラム

令和6年度は令和6年10月17日に開催し、教職員91名が参加した。

テーマ：なぜアントレプレナーシップが必要なのか

・ 教育研究支援に資する研修

令和6年度の主な開催実績は以下のとおり。

- ・ 新規採用者研修（Web）／教職員 464名受講 ※大学の管理運営に必要な知識に関する研修
- ・ ワーク・ライフ・バランス講演会（2月19日開催）／教職員 25名参加
- ・ ダイバーシティ推進セミナー（2月12日開催）／教職員 23名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各部局での分析、改善方法の検討結果を全学教育機構会議で報告している。また、当年度末までに行った具体的な取り組み内容について各部局に報告を義務付けている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

中間アンケート：学期の中間の時期に実施している。各学期末に実施し、期間後半の授業改善に役立てている。
自己評価・成長実感アンケート：各学期末に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果は各教員に通知するとともに、結果に対するコメントや次期授業に向けた改善案の提出を教員に対して義務づけている。アンケート結果については、教員からのフィードバックコメントとあわせて、本学ウェブサイト（学内限定ページ）で公表している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

加速的に進展する社会のデジタル化とともに、AIなどの情報工学や統計学などの知識・技術を活用して、大量かつ多様なデジタル・データから新たな知見を導き出す学問である、「データサイエンス」の必要性が高まっている。こうした社会の状況を踏まえ、データサイエンスを通じて社会や実務、学術分野における、様々な課題の解決に取り組むことができる人材の育成、および当分野の研究や学内・外連携の体制強化のため、令和5年4月、本学8番目の学部として、データサイエンス学部（専任教員14名、学生定員1学年80名）が設置された。

令和6年度は専門科目としては、1・2年生に対して数学、統計学、情報工学系の基礎科目や主としてデータサイエンスを学ぶ上での基盤となる科目を、2年生に対しては、データ活用の実践力、課題設定や解決能力を能動的な学びの中で身に付ける演習科目であるPBL演習を計画通り開講することができた。学生たちはこれらの科目とともに多彩な教養教育科目の履修を通じて、これから本格化するデータサイエンス教育の基盤となる能力や幅広い視野と教養を修得できたと考えている。令和7年度においては、新3年生については、PBL演習及びIT・ビジネス・医療の3つのデータサイエンス応用分野に関して学ぶことにより実践的なデータサイエンス活用能力の修得、新2年生については引き続きデータサイエンスの専門基礎科目を提供しその基礎力の一層の充実を図るよう、また新1年生については、専門の基盤となる能力や教養科目を通じた幅広い教養を身につけるよう指導する。

学生の入学状況については、第三期生として82名を迎え、第一期生、第二期生に引き続き80名の定員を確保している。入試の状況については、主として共通テストと内申書を活用する推薦入試枠30名（含、名古屋市立高等学校推薦枠3名）に対しては88名の志願者、共通テストと個別入試による一般入試枠50名に対しては302名の志願者となり、いずれも前年度の志願者数を上回り、本学データサイエンス学部の認知度が一定程度定着したことが伺えた。今後もさらなる安定した学生確保に向けて、広報や高大連携企画への参加などに積極的に取り組む予定である。

学内・外連携の状況としては、全学教育の中で他学部生向けに「データサイエンスへの誘い」、「データサイエンス・リテラシー」を開講し、学内におけるデータサイエンス教育の強化に貢献している。学外との連携については、名古屋市や名古屋商工会議所等におけるデータ活用講習会等々への講師派遣を実施し、その結果、名古屋市や民間企業からの受託研究やコンサル等による連携事業企画が進みつつある。

また、令和5年度に学位授与機構による「大学・高専機能強化支援事業」（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援（支援2））に本学の大学院データサイエンス研究科設置事業が採択され（令和5年度～令和11年度）、本事業計画に基づき、令和7年4月に本学部に接続する修士課程を開設した。以上全体として設置計画履行状況としては順調に進んでいると考える。今後も本学部の設置目標達成とさらなる発展に向け、引き続き努力して参りたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年3月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公表している

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に認証評価を受審し、令和5年3月に【一般財団法人大学教育質保証・評価センターが実施した大学機関別認証評価において大学評価基準を満たしている。】と評価された。次回は、令和10年度に受審する予定である。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。